【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公開番号】特開2003-339264(P2003-339264A)
【公開日】平成15年12月2日(2003.12.2)
【出願番号】特願2002-148832(P2002-148832)
【国際特許分類第７版】
　Ａ０１Ｋ　1/03
【ＦＩ】
　Ａ０１Ｋ　1/03　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成17年5月23日(2005.5.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　愛玩動物用サークル、愛玩動物用飼育容器等の愛玩動物隔離具周壁を構成する壁体どうしを連結する壁体連結具であって、
　上端部に上向き開口を有する一方、下端部に下向き又は横向き開口を有する筒状に形成され、両側に前記壁体が連結されるものとなされると共に、その内径が４０ｍｍ以上に設定されてなることを特徴とする壁体連結具。
【請求項２】
　径方向に分割された組み立て自在な一対の分割体からなり、両分割体間に前記壁体端部が挟持されるものとなされてなる請求項１に記載の壁体連結具。
【請求項３】
　内周面に、その高さ方向に沿って所定間隔おきに環状膨隆部が設けられてなる請求項１又は請求項２に記載の壁体連結具。
【請求項４】
　上方開口型の底部トレーと、該底部トレーの開口周縁に沿って立設された複数の壁体と、壁体どうしを連結する請求項１ないし請求項３に記載の１ないし複数の壁体連結具と、前記壁体上に載置された天蓋体とを備え、
　前記天蓋体に、小動物を収容しうるロフト空間が設けられると共に、前記壁体連結具の少なくとも一つが前記ロフト空間に連通するものとなされていることを特徴とする小動物観賞用飼育容器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
　この発明の請求項３に係る壁体連結具は、内周面に、その高さ方向に沿って所定間隔おきに環状膨隆部が設けられているので、これら環状膨隆部がハムスター等の小動物の手がかり、足がかりとなり、活動の活発な小動物に好適なものとすることができる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
この発明の請求項４に係る小動物観賞用飼育容器は、上方開口型の底部トレーと、該底部トレーの開口周縁に沿って立設された複数の壁体と、壁体どうしを連結する請求項１～請求項３のいずれかに記載の１ないし複数の壁体連結具と、前記壁体上に載置された天蓋体とを備え、前記天蓋体に、小動物を収容しうるロフト空間が設けられると共に、前記壁体連結具の少なくとも一つが前記ロフト空間に連通するものとなされている構成を採用する。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
この小動物観賞用飼育容器は、請求項１ないし請求項３に係る壁体連結具を用いることにより組立操作性に優れていることはもとより、壁体連結具が小動物の通路を兼用するので、壁体連結具とは別に通路用パイプの設置を要せず、通路用パイプ設置作業の煩雑さを回避できる。また、前記通路用パイプを飼育容器内に別途設置する場合に較べると、飼育容器内を有効に使えるものとなる。壁体連結具の内周面に、その高さ方向に沿って所定間隔おきに環状膨隆部が設けられている場合には、これら環状膨隆部がハムスター等の小動物の手がかり、足がかりとなり、活動の活発な小動物の前記ロフト空間の出入りを行い易くし、小動物の運動をより活発に行わしめる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６５】
請求項３に係る壁体連結具は、内周面に、その高さ方向に沿って所定間隔おきに環状膨隆部が設けられているので、これら環状膨隆部がハムスター等の小動物の手がかり、足がかりとなり、活動の活発な小動物に好適なものとすることができる。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６６】
請求項４に係る小動物観賞用飼育容器は、請求項１ないし請求項３に係る壁体連結具を用いることにより組立操作性に優れていることはもとより、壁体連結具が小動物の通路を兼用するので、壁体連結具とは別に通路用パイプの設置を要せず、通路用パイプ設置作業の煩雑さを回避できる。また、前記通路用パイプを飼育容器内に別途設置する場合に較べると、飼育容器内を有効に使えるものとなる。壁体連結具の内周面に、その高さ方向に沿って所定間隔おきに環状膨隆部が設けられている場合には、これら環状膨隆部がハムスター等の小動物の手がかり、足がかりとなり、活動の活発な小動物の前記ロフト空間の出入りを行い易くし、小動物の運動をより活発に行わしめる。